

# 進路便り

3年生 第12号 2016年2月29日  
三重県立津西高等学校 進路指導部

## ご卒業おめでとうございます

明日は卒業式です。が、国公立大学中期・後期日程、私立大学後期試験とまだまだ大学受験は続いています。気持ちを切らせることなく、粘り強く頑張っていきましょう。卒業してからも学校に出てきて勉強することを勧めます。小論文の練習や、総合問題、面接などの対策は自分一人ではできません。先生方に相談し準備を進めましょう。



## 中期・後期日程まで受験をやり抜きましょう



まだ受験のチャンスが残っているのに、自分であきらめている人はいませんか。「後期はもうムリ」「小論文が苦手」などと投げ出してしまうのはもったいない話です。一般的に国公立の中期・後期日程は倍率が高く合格の可能性が低いように感じますが、必ずしもそうではありません。

裏面の河合塾の資料を見てください。後期試験の欠席率・倍率の一覧表です。例えば裏面の下の表10番「三重大学生物資源学部生物圏生命科学科」では、定員20人に対して実際に受験したのが62人で合格者39人の実質倍率1.6倍と前期の実質倍率2.2倍より低くなっています。この表にはありませんが、同じ三重大の「資源環境学科」の後期実質倍率は1.4倍です。また「信州大学繊維学部応用生物学系」では25人受験して追加合格も含めて26人合格しています。つまり後期日程はお得感満載なのです。

河合塾の挙げる欠席理由のうち「③私大合格などで受験せず」はとても残念なことです。最終的に私立大学への入学という選択をするとしても、最後までやり抜いた経験はその後の人生の大きな糧になるのは間違いありません。

## 小論文・面接対策は万全ですか？

小論文の対策は一人では不可能です。先生方に相談し添削指導を受けて下さい。また、面接がある人も必ず面接練習を先生にお願いしましょう。最初はうまくいなくてもだんだんと上達します。苦手意識を持たずに取り組むことが大切です。



## 受験から戻ってきたら

受験が終わって帰ってきたら、学校に顔を出すようにしましょう。担任の先生はもちろん、添削指導などでお世話になった先生方に試験の様子などを報告することをお勧めします。うまくいかなかった場合でも、先生と話すことで心が落ち着いたり、新たなアドバイスを受けられたりといったことがあります。試験の出来がよくても悪くても3担室をのぞきましょう。



その際には、受けてきた大学の問題冊子を持参して下さい。「この問題ができた。この問題は難しかった。」などと話すこともできます。問題冊子はコピーして、資料として進路指導室に保管し、後輩のために活用します。

また、後期で面接や小論文を受けてきた人も同様に、学校に来て試験の様子を聞かせて下さい。面接での質問の内容などに関する報告書がありますので、協力をお願いします。

## 合否結果は必ず報告

結果がでるたびに連絡してください。最終的には別紙「受験結果報告用紙」を注意事項に従って記入し、3月28日までに必ず担任に提出してください。新たな旅立ちの前にはやるべきことをやってすっきり次のステップに進みましょう。



## こんなこともあります！ 追加合格・欠員募集

27日の後期手続き終了後、定員に満たなかった国公立大学では、28日以降、追加合格発表や欠員募集を行う場合があります。追加合格の場合は、入学志願表に記入した連絡先（電話番号）に大学から直接連絡があります。入試要項を確認して、電話連絡がとれるようにしておきましょう。欠員募集は大学や河合塾等のHPに掲載されます。短期決戦ですのでこまめに確認しましょう。

## 借りた本は必ず返却し、後輩のために赤本・参考書を寄付して下さい

進路指導室から、昔の赤本を借りて利用した人も多いでしょう。あの赤本や参考書は、過去の先輩たちが卒業時に寄付してってくれたものです。受験が終わった人は、ぜひ自分の使っていた赤本や参考書を進路指導室に寄付して下さい。いつでも寄付を受け付けていますし、書き込みなどがあっても構いません。「進路指導室の本が利用できて良かったな、助かったな」と思ったことがある人は、後輩にも同じ思いをさせてあげて下さい。よろしくお願いします。